

平成30年7月の赤潮発生状況

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況及び発達状況	最大面積	発生水深	最高細胞数	漁業被害の有無
7	6.19~7.2	神戸市から堺市にかけての沿岸域	<i>Skeletonema</i> spp.	6月19日より続く <i>Skeletonema</i> spp.の赤潮は7月2日には左記の海域で確認された。なお、 <i>Pseudo-nitzschia</i> sp.が第二優占種であった。なお、この赤潮は7月9日には確認されなかった。	150km ²		3.03×10 ⁴ cells/ml	なし
11	7.2	泉大津市の沿岸域	<i>Pseudo-nitzschia</i> sp.	7月2日、左記の海域で <i>Pseudo-nitzschia</i> sp.の赤潮が確認された。なお、 <i>Skeletonema</i> spp.が第二優占種であった。なお、この赤潮は7月9日には確認されなかった。	20km ²		1.12×10 ⁴ cells/ml	なし
12	7.17~7.23	西宮市から泉大津市にかけての沿岸域	<i>Skeletonema</i> spp.	7月17日、左記の海域で <i>Skeletonema</i> spp.の赤潮が確認された。この赤潮は7月23日の調査では、西宮市沿岸域に存在していた。なお、この赤潮は7月31日には確認されなかった。	110km ²		1.44×10 ⁴ cells/ml	なし

※6月25日に神戸市および堺市の沿岸域で確認された赤潮（No.9）は7月2日の調査では消滅していた。

※6月25日に岸和田市および貝塚市の沿岸域と泉南郡の沿岸域で確認された赤潮（No.10）は7月2日の調査では消滅していた。